

もっと知りたい!

第15号

つくばイメージ
キャラクター
フックン船長

つくば市 ばん

かわら版



つくば市長 五十嵐立青

2022年11月15日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ

ゼロカーボンシティのこと、もっと知りたい!

～二酸化炭素の排出量を2050年に実質ゼロ*にするために～

*二酸化炭素の排出量と、植物などによる吸収量を等しくさせること。



ギモン 01 ゼロカーボンシティを目指す理由を教えてください!

そもそも、ゼロカーボンシティって何?

そうですね。まず、ゼロカーボンについて簡単に言うと、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることです。なぜゼロにしなければならないのかというと、二酸化炭素などの温室効果ガスが地球温暖化の原因の一つになっているからです。太陽エネルギーで温められた地上の熱の一部を、大気中の二酸化炭素が吸収し、大気が温まります。ところが、二酸化炭素が増えすぎると、大気が温まりすぎてしまい、地球温暖化が進んでしまうんです。ゼロカーボンシティとは、地球温暖化がこれ以上進まないように、2050年までにゼロカーボンにすることを宣言している自治体のことで、つくば市は、2022年2月に「つくば市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

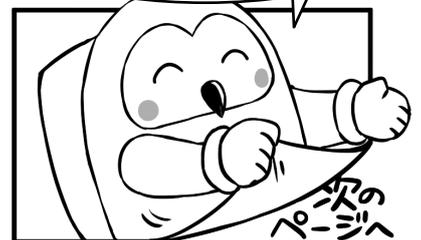


2050年に二酸化炭素の排出を実質ゼロにするなんて、本当にできるの?

決して不可能だとは思っていません。大きな目標を達成するには、段階的に目標を設定し、地道にクリアしていくことが大事です。国では、2030年に2013年時点の二酸化炭素排出量の46%を削減する目標を掲げています。まずは、この目標を達成するために、一人ひとりができることから取り組んでいくことが大切です。



次のページで自分たちが家庭でできることの例を紹介するフク!



*温室効果ガスには、二酸化炭素以外にもメタンや一酸化二窒素などがありますが、主な温室効果ガスとして、今回は、二酸化炭素(市全体の温室効果ガスの98.7%)を取り上げて紹介しています。

燃やせるごみを減らそう

「分ければ資源」。生ごみは「段ボールコンポスト」などで家庭菜園の肥料などに(段ボールコンポストの無料配布や生ごみ処理容器の購入費の補助などを実施中)。プラスチックは月4回の収集日に合わせてこまめに分別。分別方法・収集日などはごみ分別アプリ「さんあ〜る」で簡単に確認できます。



市ホームページ
「生ごみを減らしましょう」

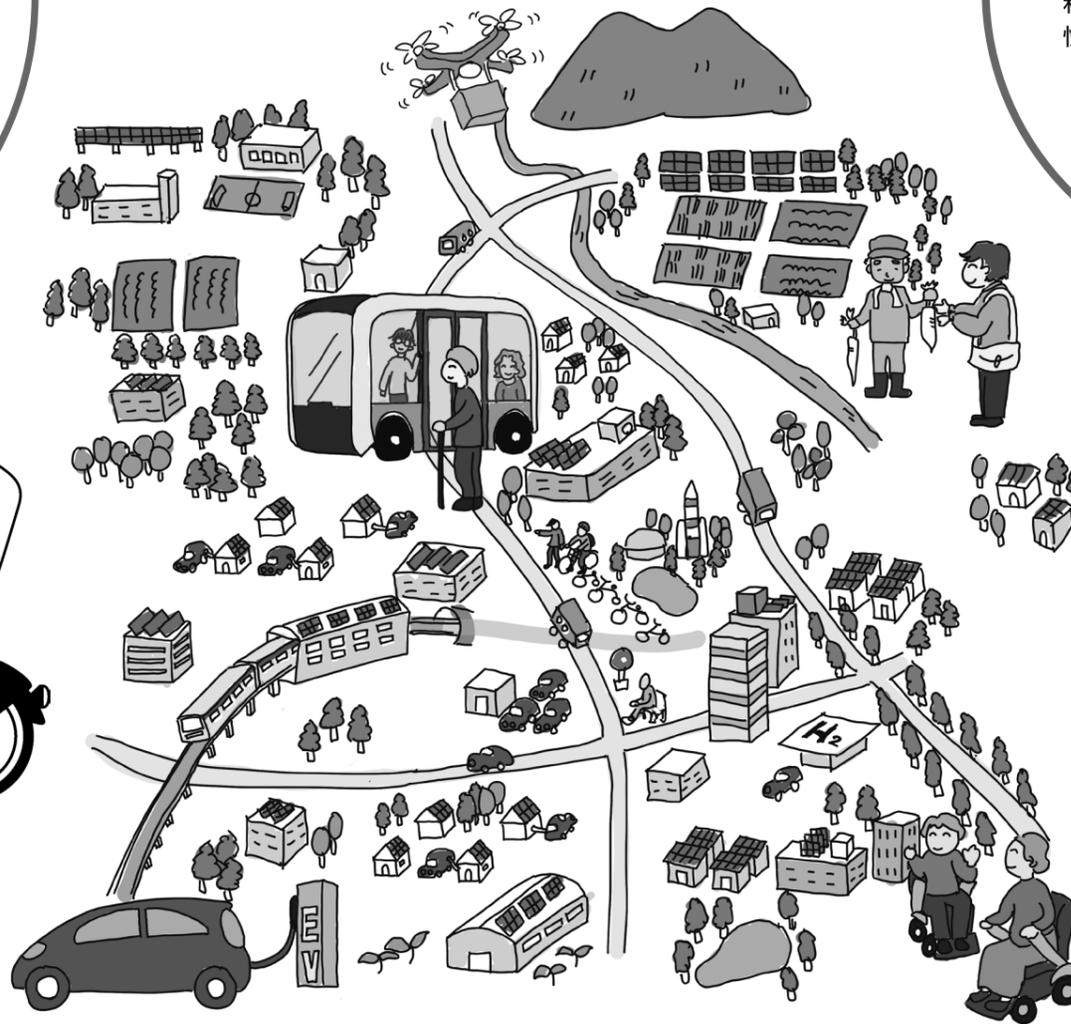


市ホームページ
「ごみ分別アプリさんあ〜る」

ゼロカーボンシティの実現に必要なのは、 私たち一人ひとりの小さな心がけです。

まずはできることから実践してみましょう

2030年に二酸化炭素を46%削減。今つくば市で暮らす一人ひとりがその目標に向かって行動を選択し、環境に優しく、人に優しい未来をともに創りましょう。



食の地産地消を心がけよう

地元で採れた新鮮な旬の食材を取り入れ、健康的で豊かな食生活に。地元で消費することで、農産物の運搬時に排出される二酸化炭素を削減できるだけでなく、燃料費・人件費も削減でき、地域経済の活性化にもつながります。



つくば地産地消ポータルサイト「Farm to Table つくば」

低炭素自動車を選ぼう

車を購入する際は、燃費の良い自動車や電気自動車・燃料電池自動車などの低炭素自動車を選択肢に入れましょう。



低炭素住宅を選ぼう

住宅を選ぶ際は、省エネ化や高断熱化の施された低炭素住宅を選択肢に入れましょう。太陽光パネルや蓄電池、高効率な給湯器、省エネ家電などを設置することも効果的。



公共交通や自転車を利用しよう

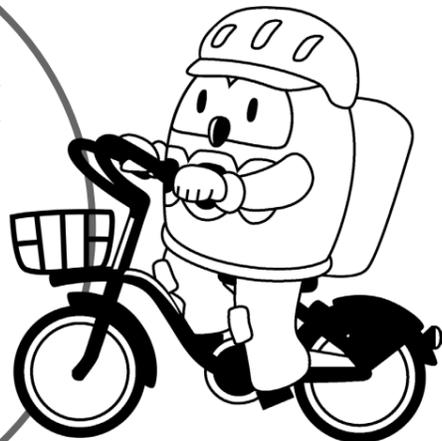
できるだけ自家用車の利用を減らし、公共交通や自転車を利用しましょう。市では、カーシェアリングの普及やシェアサイクルのサービスなどを実施しています。



市ホームページ
「つくば市内カーシェアリングステーション」



市ホームページ
「つくば市シェアサイクル実証実験事業つくチャリ」



配達物は1回で受け取ろう

事前に場所・時刻を指定するサービスを活用し、できるだけ1回の配達で受け取りましょう。再配達をなくすことで、運搬時の二酸化炭素が削減できるだけでなく、燃料費や人件費も削減でき、経済にも好影響。集合住宅のオーナー様向けに、宅配ボックス設置の補助金制度もあります。



市ホームページ
「既設共同住宅向けつくば宅配ボックス設置事業補助金」



日々の節電を心がけよう

テレビなどの家電や照明の電源は、使っていないときはこまめにオフ。発電時の二酸化炭素削減につながるだけでなく、光熱費の節約にも。



市の最新データでは1年間に約190万トン※の二酸化炭素が排出されているんだ

グラフを見てみて!

身近なところだと、全体の27.1%は自動車や交通機関から、13.8%は家庭の電力などから排出されているんだよ

家庭部門 13.8%

運輸部門 27.1%

産業部門 22.0%

業務部門 33.1%

その他の分野 4.0%

つまり…

一人ひとりの努力でどれだけ家庭部門と運輸部門を減らせるかがカギってことフクね!

そういうこと! まずはできることからひとつずつ始めてみよう!

※2018年度の排出量。25メートルプール約200万面分の体積に相当。

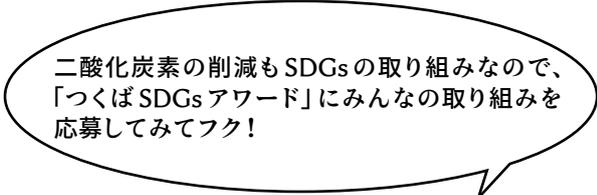
ゼロカーボンシティの実現に向けての市の取り組みを教えてください！

市ホームページ
「つくば市ゼロカーボンシティ宣言」



市ではどんな取り組みをしているの？

10月1日から、本庁舎を含む市の41の施設に、つくばサステナスクエアのごみ焼却施設で、焼却熱を使って発電した電力の一部を送電する事業を開始しました。この取り組みによる二酸化炭素削減量は年間約1,900トン。削減できる電気料金は、約6,890万円です。他にも、発電する際の二酸化炭素排出量が少ない電力会社と契約するための方針を2019年に定め、市の公共施設での電力使用による二酸化炭素排出量の削減を図るほか、市民向けの補助制度(2~3ページで紹介)を実施するなど、さまざまな取り組みを進めています。



11/30
まで

つくばSDGsアワード 皆さんのSDGsの取り組みを募集しています

SDGs未来都市のつくば市では、SDGsの取り組みを広げていくため、皆さんの取り組み事例を広く募集しています。内容に応じて、以下の2部門から選んで応募してください。詳細は市ホームページをご覧ください。

① つくばSDGs部門

持続可能なまちづくりをつくばで達成するため、**地域の課題解決につながる取り組み**を募集中。

問 持続可能都市戦略室

② みんなのSDGs部門

日々の生活での**身近な取り組み**を募集中。ご家庭や職場などで取り組んでいるもの、大歓迎！

問 広報戦略課

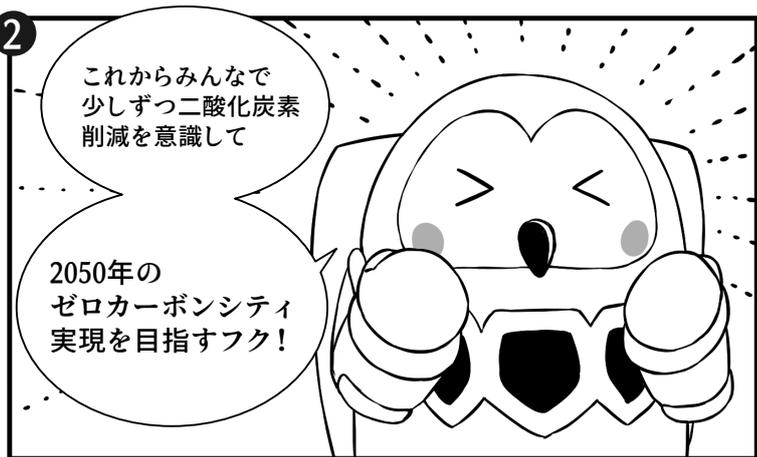
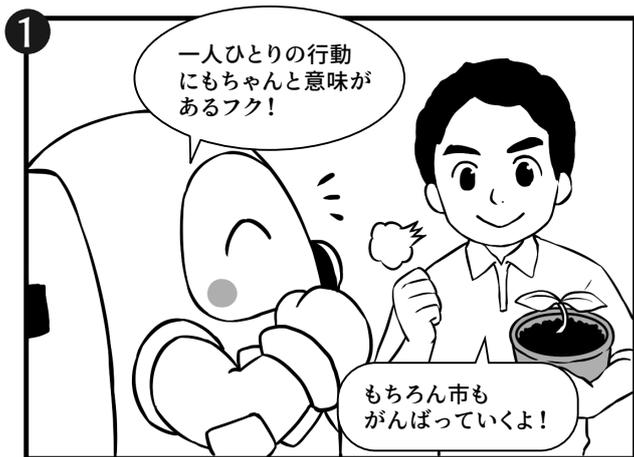
応募方法

11月30日(水)までにインターネットで ※みんなのSDGs部門は郵送も可

応募は
こちらから



／ みんなのSDGs部門で受賞された方には、フックン船長オリジナルグッズをプレゼントするフク！



アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、『もっと知りたい!つくば市かわら版 第15号』をお読みになった感想などをお寄せください(各号ごとのアンケートとなります)。



※個別の質問にお答えすることはできません。 ▶ <https://bit.ly/3LorfiY>

パソコン スマホ



でつくば市かわら版をいつでもどこでも!



市ホームページ



マチイロ



YouTube

